

教員組織・指導体制

1. 本学で取得できる教員免許状の教科と種類・教員構成

学部・学科等		免許状の種類	
法経学部	法経学科	中一種免(社会)	
		高一種免(公民)	
		高一種免(地歴)	
人文学部	国際コミュニケーション学科	中一種免(英語)	
		高一種免(英語)	
	福祉文化学科	社会福祉専攻	中一種免(社会)
			高一種免(公民)
			高一種免(福祉)
	健康スポーツ福祉専攻	中一種免(保体)	
		高一種免(保体)	
こども文化学科		小一種免	
健康栄養学部	管理栄養学科	栄教一種免	

※2018年度以前入学生は取得可能

※2018年度以前入学生は取得可能

※2019年度開設

	職位・学位	担当科目	業績等	
小学校教諭の教職課程	専任教員	梶村光郎(カジムラミツロウ) 教授 (学位:教育学修士)	教職論 初等教育原理 初等国語科教育法 教職実践演習(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・北中城村の近代教育の歩み、『北中城村史』第7巻、468-485、2012 ・『復刻 沖縄教育』、共編著、不二出版、2009年 ・山形の教育の伝統とフレネ教育—書くことによる教育を中心に—、琉球大学言語文化論叢10、1-14、2013 ・沖縄の学力問題の現状と課題、作文と教育(9)、50-53、2014 ・児童新聞『児童の産業』に関する一考察—綴り方作品を手がかりとして—、沖縄大学人文学部紀要14、17-32、2012 ・沖縄の標準語教育史研究—大正期の綴り方教育実践を中心に—、琉球大学言語文化論叢7、51-70、2010 ・沖縄の子ども達は平和と安全をどう表現しているか—それらの作文から何を学ぶか—、沖縄大学人文学部こども文化学科紀要1、6-15、2014
		池間 生子(イケマセイコ) 教授 (学位:短期大学士)	算数科指導法 教育実習指導Ⅰ・Ⅱ 教育実習(小学校) 教職実践演習(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力を育てる指導の工夫 ～算数的活動を通して～ 2012、2月 共著 ・小中一貫教育の本格実施に向け講話、推進手順確認 2014、4月から那覇市内の2つのブロック校長会(19名)で実施 ・那覇市内小中学校で校内研修会講話(ノート指導、ワークショップの効果的活用法、系統表作成、小中一貫の考え方、学級経営等)2014、4月～12月 中学校5回、小学校7回、付属小2回 ・ノート指導と教科書の使用でひとり学びの可能性を探る—効果的な正負の数の紹介の仕方— 沖縄大学 教職実践研究第6号(13ページ)2016年3月
		喜屋武政勝(キャンマサカツ) 教授 (学位:教育学修士)	初等国語 教職入門セミナー 教職実践演習(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間的なありか限定性について—研究のためのおぼえがき—」2009年 言語学研究会編『ことばの科学 12』(むぎ書房) ・『『小学生のための日本語』テキスト案とその解説—第1章 文—』2012年 教育科学研究会国語部会編『教育国語』第4期12号(むぎ書房) ・「単語の習得について—国語科における単語指導のために—」2013年 沖縄大学教職支援センター『教職実践研究』第3号 ・「小学生用文法教科書『あたらしい にっぽんご』—その構成と教授学的意義について—」2014年 沖縄大学教職支援センター『教職実践研究』第4号 ・日本語文法学会編『日本語文法事典』「述語」の項 2014年大修館書店 ・『あたらしい にっぽんご』2014年(むぎ書房)共編 ・「人称の不特定性をめぐって—主語に着目して」2016 こども文化学科紀要 ・「教育のめざす人間像について—文学教育を手がかりにして—」2017「沖縄大学教職実践支援センター紀要『教職実践研究』第7号」 ・『『あたらしい にっぽんご』(『小学生のための にっぽんご』改題)その解説—第8章 できごとの時間、第9章 動作と変化—」2018『教育国語』第4期15号
		宮城 能彦(ミヤギヨシヒコ) 教授 (学位:教育学修士)	初等社会科教育法	<ul style="list-style-type: none"> ・『共同売店—故郷を守るための沖縄の知恵—』2009年2月 ・『ウチナー・パワー—沖縄の知恵—』(「村落共同体の象徴としての共同売店」第2章3節)2010年7月 ・「沖縄県国頭村奥むらと戦争」1～3 ・人文学部紀要12号、13号、14号、2012年3月、2013年3月
		盛口 満(モリグチミツル) 教授 (学位:理学学士)	初等理科 初等理科教育法	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の描き方自然の技法 東京大学上版会160PP、2012年 ・小学生理科における昆虫を使った生物授業の試み 沖縄大学人文学部紀要、73-79、2012年 ・教室から見る”シマ”と”いま”、安溪遊地他編「奄美沖縄環境資料集成南方新社」789-814、2011年
		松尾 理沙(マツオリサ) 准教授 (学位:臨床心理学修士)	発達心理学 教育心理学 特別支援教育概論	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生に対するイラストを用いた認知再構成法の効果、臨床精神医学、43(7)、1055-1061、2014年 ・思春期の発達障害時を持つ親のためのペアレント・トレーニングプログラムの開発、発達研究、27、71-80、2013年 ・発達障害の親を対象としたペアレントトレーニングの実践者とその支援のニーズに関する調査、その精神と神経52(1)、53-59、2012年

		職位・学位	担当科目	業績等
小学校教諭の教職課程	専任教員	宮島 基(ミヤジマモトイ) 准教授 (学位:教育学修士)	教育課程論 教育方法論	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族を支える女性たち—若者の移行とケアワーク」、『高卒5年 どう生き、これからどう生きるのか』大月書店、145-180項、2013年 ・「生徒の主体性を考える「教育課程論」—授業実践とその分析—」、『教育科学研究第27号』首都大学東京都市教養学部人文・社会系/東京都立大学人文学部教育学研究所、19-29項、2013年 ・『高校中退者の中退をめぐる経緯とその後の意識に関する検討—内閣府調査(2010)の再分析』、共著、『教育科学研究第26号』首都大学東京都市教養学部人文・社会系/東京都立大学人文学部教育学研究室、25-78項、2012年
		上原 周子(ウエハラノリコ) 教授 (学位:学士(英文学))	初等英語科教育法 特別活動の理論と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語を使うことに慣れるための教員研修の工夫」～小学校外国語の指導で求められる英語力を身に付ける～沖縄大学人文学部こども文化学科紀要 第4号(6ページ)平成29年10月 ・「小学校外国語活動の意義とありかた」～小学校外国語活動の教科化に向けて～沖縄大学教育実践研究 第8号(8ページ)平成30年3月 ・新学習指導要領(平成29年3月公示)移行期における小学校特別活動の展開～与那原小学校のばあいを事例にして～ 沖縄大学教育実践研究 第8号(8ページ)平成30年3月 ・平成28年度校長講話集「与那原っ子へ」 与那原町立与那原小学校(11ページ)平成29年3月
		宮城 アケミ(ミヤギアケミ) 教授 (学位:修士(教育学))	生活科教育法 総合的な学習の時間の指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄子どもの貧困 白書かもがわ出版(288ページ) 平成29年10月 共著:著者:加藤彰彦、上間陽子、金田佐多子、金城隆一、小田切忠人、宮城アケミ、他 ・平成25年度校内研究報告書「生活科学習指導案」石嶺小学校研究報告書(12ページ) 平成26年3月 共著:著者:永山都、内間おりえ、浦崎早苗、與那嶺憲希、知念敦子、宮城アケミ ・地域とかかわる沖縄発総合学習～山原船が来た海辺の町～ 民衆社(193ページ)平成13年7月 ・ともにつくる総合学習～学校・地域・生活を変える～ 新評論(16ページ) 平成13年7月 共著:筆者:丸木政臣、中野光、斉藤孝、宮城アケミ 他14名 ・一人ひとりを生かし自ら学ぶ力を育てる問題解決学習の創造 「教育研究員研究報告書」沖縄県島尻教育研究所(10ページ) 平成11年9月 ・「地域や学校の特色に応じた探求課題」の解決で目指す具体的な資質・能力—安和小学校「わった—自慢の勝山シークァーサー」の事例を通して— 沖縄大学教職実践研究第9号(7ページ)2019年3月
		下村 英視(シモムラヒデミ) 教授 (学位:学術博士)	道徳教育の理論と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・『叢書 哲学への誘い—新しい形を求めて—』全5巻、第五巻「自己」、東信堂、2010年、共著、担当部分「第6章 人の傍らで」、p. 245～p. 282、編著者:松永澄夫、分担執筆:川崎惣一、浅田淳一、大西克智、古莊真敬、下野正俊、下村英視 ・『星故郷の乾坤—星塚敬愛園を生きた人々—』、鉦脈社、2012年、単著 ・『人間存在の研究—福祉の理論のために—』、ポーターインク、2014年、単著
		吉川 麻衣子(ヨシカワマイコ) 准教授 (学位:文学博士)	教育相談の理論と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症を抱える小1児童の校内支援体制づくりの実践—学校と保護者を橋渡しするスクールカウンセラーの立場から—:教職実践研究第3号、25-30、2013年 ・対人関係の困難さを抱えた高校生の進路選択における心理過程—自分なりの生き方を模索する過程にスクールカウンセラーとして寄り添って—:臨床心理学論集第6号、27-33、2011年 ・「小1プロブレム」の予防を目的とした多面的な心理教育プログラム—幼少連携におけるスクールカウンセラーの役割—:教職実践研究第2号、1-5、2011年
	計			

	職位・学位	担当科目	業績等
中学校・高等学校・栄養教諭の教職課程 専任教員	黒木 義成(クロキヨシナリ) 教授 (学位:修士(教育学))	教職論 教職入門セミナー 特別活動の理論と方法 教育実習指導 教育実習A 教育実習B 教職実践演習(中等)	・平成29年度小学校学習指導要領ポイント総整理 特別活動 東洋館出版社(140ページ)平成29年12月 共著:著書:杉田洋、長沼豊、橋谷由紀、石川隆一、鈴木純一郎、黒木義成、白松賢、脇田哲郎 ・平成29年度小学校新学習指導要領の展開特別活動編 明治図書出版(168ページ)平成29年11月 共著:著書:杉田洋、平野修、太田敦弘、和久井信彦、大澤崇、石川隆一、鈴木純一郎、脇田哲郎、黒木義成、中尾聡 他 ・東研情報「小・中学校学校経営」東京教育研究所(12ページ)平成29年4月 共著:執筆:立川志の春、石井卓之、高橋了、工藤勇一、儘田文雄、秋山美栄子、花田茂、黒木義成 ・小学校特別活動の充実を図るための調査研究—先行実施に係る教員の意識調査から見える現状と課題— 沖縄大学 教職実践研究第9号(8ページ)2019年3月
	吉川 麻衣子(ヨシカワマイコ) 准教授 (学位:文学博士)	発達心理学 教育相談の理論と方法 発達と教育の心理学	・自閉症を抱える小1児童の校内支援体制づくりの実践—学校と保護者を橋渡しするスクールカウンセラーの立場から—:教職実践研究第3号、25-30、2013年 ・対人関係の困難さを抱えた高校生の進路選択における心理過程—自分なりの生き方を模索する過程にスクールカウンセラーとして寄り添って—:臨床心理学論集第6号、27-33、2011年 ・「小1プロブレム」の予防を目的とした多面的な心理教育プログラム—幼少連携におけるスクールカウンセラーの役割—:教職実践研究第2号、1-5、2011年
	天久 大輔(アメクダイスケ) 講師 (学位:修士(教育学))	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	・語彙の定着を図る指導の工夫 ～タスクを活用した言語活動の指導を通して～ 沖縄県立教育センター(研究成果報告書:教科研修班)第57集 研究集録(11ページ)平成27年3月 ・アクティブラーニングによる英語指導から導く問題解決能力の育成～クリティカルシンキングの手法による英語学習を通して～ 沖縄大学 教職実践研究紀要第8号(16ページ)平成30年3月 ・英語即興ディベートを等した「知性」の育成—Basic EnglishⅠにおける発信型授業の展開において— 沖縄大学 教職実践研究紀要第9号(15ページ)2019年3月
	糸数 哲(イトカズテツシ) 准教授 (学位:農学博士)	社会科・地理歴史科指導法	・教職課程履修中の学生が作成した学習指導案の検討 —中学校社会科地理的分野及び歴史的分野を事例に— 沖縄大学教職実践研究第8号2018年3月
	宮城 公子(ミヤギキミコ) 教授 (学位:文学修士)	英語科指導法Ⅰ 英語科指導法Ⅱ	
	下村 英視(シモムラヒデミ) 教授 (学位:学術博士)	道徳教育の理論と方法	・『叢書 哲学への誘い—新しい形を求めて—』全5巻、第五巻「自己」、東信堂、2010年、共著、担当部分「第6章 人の傍らで」、p. 245～p. 282、編著者:松永澄夫、分担執筆:川崎惣一、浅田淳一、大西克智、古荘真敬、下野正俊、下村英視 ・『星故郷の乾坤—星塚敬愛園を生きた人々—』、鉦脈社、2012年、単著 ・『人間存在の研究—福祉の理論のために—』、ポーターインク、2014年、単著
	宮島 基(ミヤジマモトイ) 准教授 (学位:教育学修士)	教育課程論	・「家族を支える女性たち—若者の移行とケアワーク」、『高卒5年 どう生き、これからどう生きるのか』大月書店、145-180項、2013年 ・「生徒の主体性を考える「教育課程論」—授業実践とその分析—」、『教育科学研究第27号』首都大学東京都市教養学部人文・社会系/東京都立大学人文学部教育学研究所、19-29項、2013年 ・『高校中退者の中退をめぐる経緯とその後の意識に関する検討—内閣府調査(2010)の再分析』、共著、『教育科学研究第26号』首都大学東京都市教養学部人文・社会系/東京都立大学人文学部教育学研究室、25-78項、2012年
	嘉数 健悟(カカズケンゴ) 准教授 (学位:教育学博士)	保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科指導法	・保健体育教師を志望する学生の保健授業観に関する研究・学校保健研究56(5):376-382 ・教員育成段階における体育授業観の変容に関する研究—教育実習前後に着目して— 体育科教育学科研究29(1):35-48、2013年 ・教員養成段階における体育の教師志望の学生の授業構想に関する基礎的研究—器械運動に着目して— 教育学研究ジャーナル9:11-19、2011年
	我那覇ゆりか(ガナハユリカ) 講師 (学位:修士教育学)	栄養教育実習 栄養教育実習指導 教職実践演習(栄養)	・「学校給食における食物アレルギーの対応の開始を困難とさせる要因に関する研究」日本給食経営管理学会誌7巻1号(10頁)平成25年4月 共著:我那覇ゆりか、新城澄枝、根川文枝、定歳尚子、稲垣夏子、山本茂 ・「The Relationship Between the Status of Unnecessary Accommodations Being Made to Unconfirmed Food Allergy Students and the Presence or Absence of a Doctor's Diagnosis」(学校給食における似非食物アレルギー児童生徒に対する不必要な食物アレルギー対応の現状と医師の診断との関連)Children 2、(16頁)平成27年2月 共著:担当部分:研究全体、論文執筆 Yurika Ganaha, Minoru Kobayashi, Yonathan Asikin, Taichi Gushiken, Sumie Shirjo ・「学校給食における食物アレルギー対応の実態および食物アレルギー対応児童生徒の割合に対する医師の診断の有無の影響」学校保健研究58巻4号(7頁)平成28年10月 共著:担当部分:研究全体、論文執筆著者:我那覇ゆりか、小林稔、高倉実、森山克子 ・「Reliability and Validity of the Multidimensional Scale of Life Skill in Late Childhood」(多次元的ライフスキル尺度の妥当性及び信頼性の検討)Education Sciences 3、(6頁)平成25年4月 共著:Minoru Kobayashi, Taichi Gushiken, Yurika Ganaha, Yosiaki Sasazawa, Shotaro Iwata, Akiko Takemura, Tsutomu Fujita, Yonathan Askin.
計			

2. 教職課程の運営に係る全学的組織

組織名称	沖縄大学教職支援センター
目的	大学における教職課程に関わる業務を、全学的に円滑に運営するとともに、学校及び地域社会の教育課題に的確に対応できる人材の養成に向けた、教育実践に関する研究及び指導等の推進である。審議事項は、ア)大学及び大学院における教職課程の企画・運営、イ)教職履修にかかわる相談指導及び教育実習支援、ウ)児童生徒を対象とする学生ボランティア活動への支援、エ)教員採用試験に関する学生の支援、オ)教員に対する現職教育、カ)教員養成にかかわる調査と研究、キ)教員養成にかかわる資料の収集と整備、に関する事項である。
構成委員	センター長1名、副センター長1名、職員(専任職員2人、非常勤職員1名)
運営方法	委員長1名(教職支援センター長)、委員10名程度(副センター長、事務長、各学科選出委員、大学院研究科選出委員、教務課長、運営委員会が必要と認めた若干名)から構成される教職支援センター運営委員会を置き、月1回以上の会合を開き、円滑な業務運営を図っている。